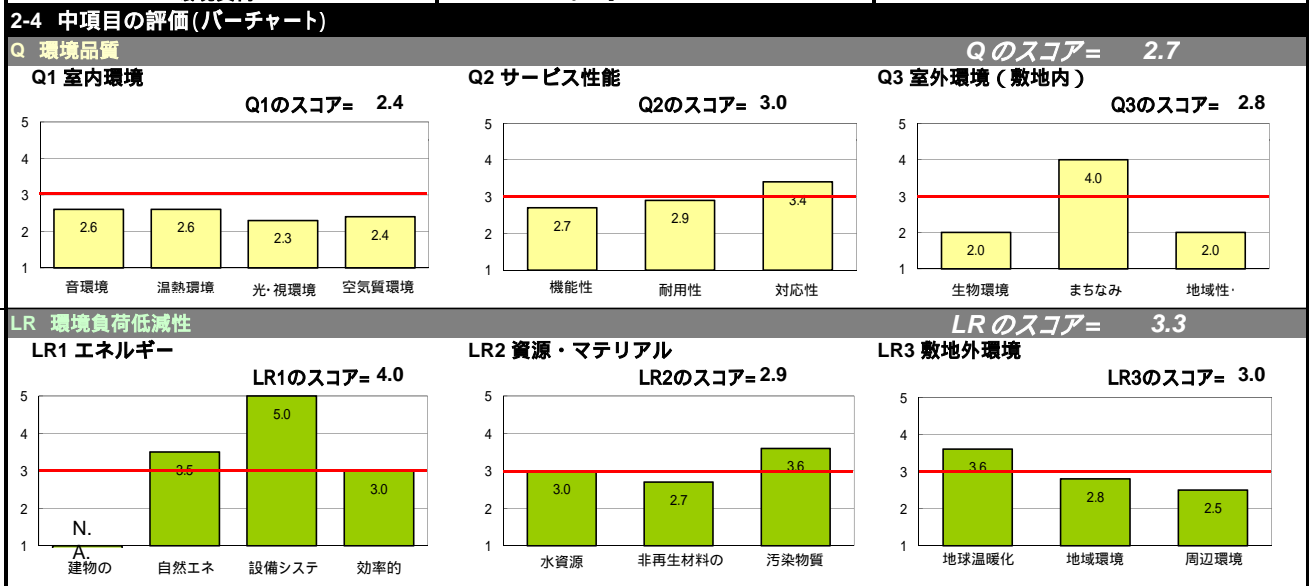
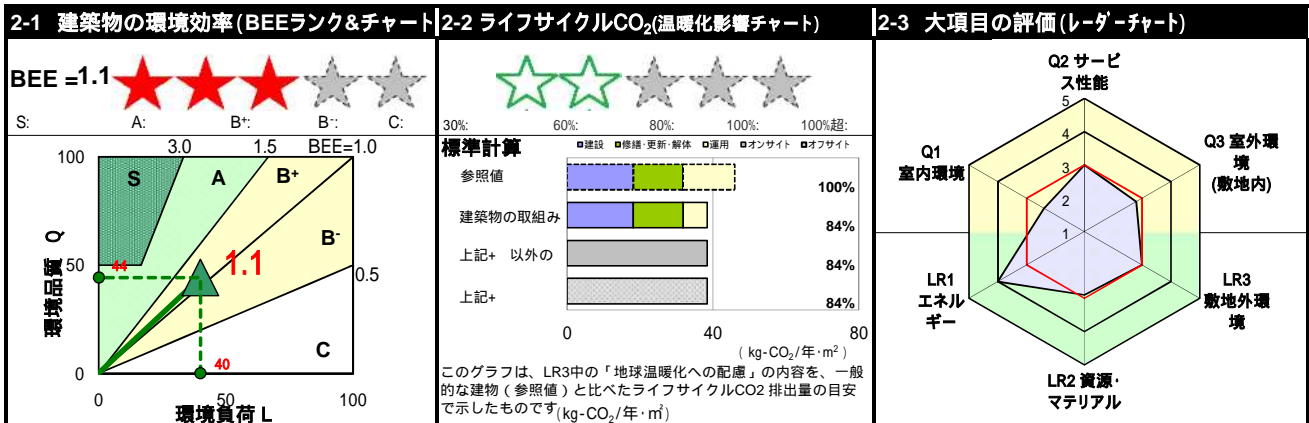


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	伊勢原工場検査棟・TANAKA物流センター	階数	地上1F
建設地	伊勢原市鈴川26番地、27番地	構造	S造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	12人
気候区分		年間使用時間	1,920時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年5月 竣工	評価の実施日	2014年1月1日
敷地面積	5,908 m ²	作成者	株式会社大建設計
建築面積	2,155 m ²	確認日	2014年1月17日
延床面積	2,167 m ²	確認者	株式会社大建設計



3 設計上の配慮事項

総合	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・矩形でシンプルな形状の平面計画 ・システム建築の採用による効率的な施設計画 (外壁: 断熱サンドイッチパネル、屋根: 二重折板葺き) 	<ul style="list-style-type: none"> ・建物高さを限界まで低くすることで、材料削減・周辺環境への影響を軽減した。
<h4>Q1 室内環境</h4> <ul style="list-style-type: none"> ・ハイサイド窓により自然採光を積極的に利用 	<h4>Q2 サービス性能</h4> <ul style="list-style-type: none"> ・システム建築のメリットを生かし、設備更新のし易さに配慮している。 ・床上配管(PS内)とし、床下隠ぺい配管をしない。
<h4>LR1 エネルギー</h4> <ul style="list-style-type: none"> ・人感センサーの採用で消し忘れ及び省エネルギーをはかる ・全ての照明器具にLEDを採用し省エネルギーをはかる 	<h4>LR2 資源・マテリアル</h4> <ul style="list-style-type: none"> ・システム建築の採用により、規格材料を用いることで廃材の削減に努めた。
	<h4>Q3 室外環境(敷地内)</h4> <ul style="list-style-type: none"> ・可能な限りの緑化を行った。
	<h4>LR3 敷地外環境</h4> <ul style="list-style-type: none"> ・周辺の田畑に日影を落とさない配置とした。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される